GTR BNR32／マイナー後(プル式 H5.2以降〜)用 BCNR33／RB26用

作動変更パーツ取扱説明書

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

各部部品名

品番	品名
①	シリンダーホーク
②	レリーズホーク
③	スリーブベアリング
④	ピボット台
⑤	T字型ブラケット
⑥	リターンスプリングステー
⑦	リターンスプリング
⑧	板バネ
⑨	ワッシャー
⑩	スリーブリターンスプリング
⑪	ピン
⑫	ピボット
⑬	プッシュロッド

使用ボルト

品番	品名	数量
1	M 8 ×50L	1本
2	M 8 ×40L	1本
3	M10×25L	2本
4	M10×30L	2本

取り付け方法

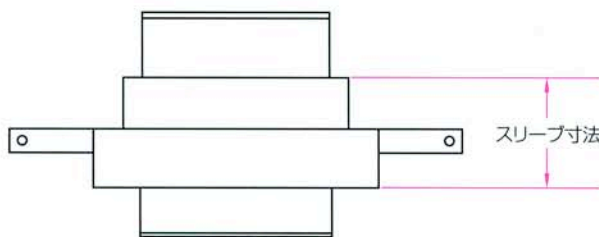
※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.純正部品のレリーズホークを、スリーブベアリング、支点台などを取り外しOS製の部品と交換する。

2.④と①を仮固定し、⑤②③を固定する。この時、注1の板バネがきちんと溝に沿って入っているかを確認する。スリーブベアリングが円滑に作動するのを確認した後、123のボルトを固定する。

3.スリーブベアリングとダイヤフラムスプリングとの隙間は、接触しないように0.5㎜以上離した位置でプッシュロッドを調整し⑥⑦4を固定してください。（注2で①）が2〜3㎜程度遊ぶ様に調整）

4.レリーズシリンダー内のテーパー状のスプリングは取り除く。

GTR作動変更パーツの注意事項

★レリーズスリーブ寸法確認
（レリーズホークの当たり面から、スリーブベアリングを圧入した一番奥の寸法。）

★レリーズスリーブ寸法は、

R32 TS2BD用	15㎜
R32 TS3B 及び R4C用	18㎜
R32 TS2B 及び R34 R4C用	22㎜
R32 R3C用	28㎜
R34 R3C用	32㎜

※必ず、寸法を確認してください。ディスクの破損及び切れ不良の原因になります。

! 注意事項

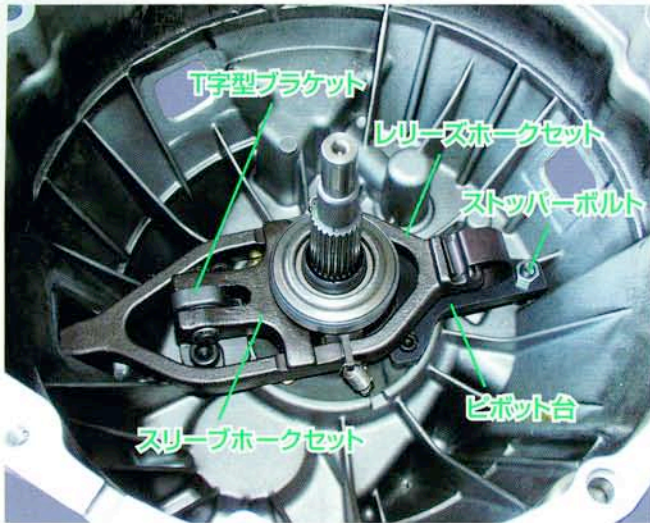
●ツインプレート（ダンパー付）又は、トリプルプレート（R3Cを除く）を取り付ける場合は、フロントカバーの先端を4㎜位削ること。（接触するため）

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

GTR BNR34／RB26用 作動変更パーツ取扱説明書

図1

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

各部部品名

●レリーズホークセット（組んだ状態で出荷。）
レリーズホーク
ピボット台〔ピボット、板バネ、ストッパーボルトM8×30L、ナット〕
リターンスプリング、
リターンスプリングステー

●スリーブホークセット（組んだ状態で出荷。）
スリーブホーク
T字型ブラケット
ピン、ピン用C止め（2個）、スリーブベアリング、スプリング（2個）

●付属部品
ピボット台固定用ボルトM6×20L（2本）
T字型ブラケット固定用ボルトM10×30L（2本）
プッシュロッド一式
レリーズシリンダー固定用ボルトM10×30L（2本）
スペーサー（板厚6㎜）

取り付け方法

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.レリーズシリンダー内（カップの奥）の、スプリングを取り除いて使用してください。
2.純正部品のレリーズホーク、レリーズスリーブ及び支点台などを取り外してください。
3.フロントカバーを固定しているボルト（図2の*印の部分）を2本外す。
4.スリーブホークセットからシャフトを外します。
5.付属のスペーサーを下に敷く様にして、T字型ブラケットを付属のボルトで仮止めをしてください。
6.全体図を参照しながら、レリーズホークをセットしてください。
7.ピボット台を付属のキャップスクリューボルトでフロントカバーに固定してください。
8.T字型ブラケットにスリーブホークを差し込み、先程外したシャフトを取付けてください。
9.スリーブベアリングをフロントカバーに入れてください。
注意（この時に、スリーブベアリングが回転方向に少しガタがあることを確認してください。もし、固かったら、T字型ブラケットの取付位置を修正してください。）
10.レリーズホークを動かして、スムーズに動くか、そして各部がうまく取付けられているかを確認してください。
注意（この時、動きや配置に問題がある場合は、各ボルトを緩めて調整してください。）
11.ストッパーボルトを⊖のドライバーでベルハウジングに当たるまで締め込み、ナットで固定してください。
12.レリーズシリンダーでリターンスプリングステーを挟み込むように固定します。（図3を参照）
13.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように（隙間は0.5㎜以上）プッシュロッドで調整してください。

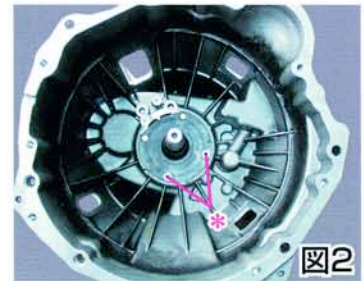



図2

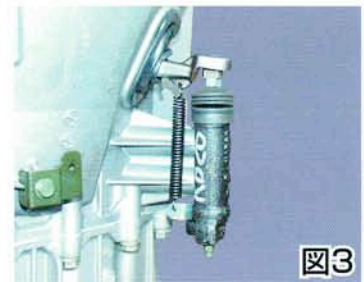



図3

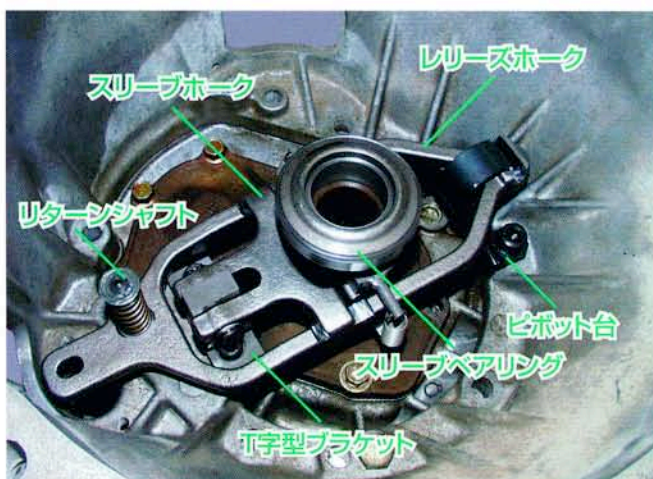
フライホイール取付時の注意事項

軽量化のため、フライホイールの厚みを薄くしているので、純正に付属しているフライホイールボルトは使用できません。
別途日産純正フライホイールボルト（12315-04U00）の購入が必要です。

注意事項

●レリーズスリーブ寸法は、1ページのGTR作動変更パーツの注意事項に表示しています。必ずご参照ください。
●クラッチの繋がる位置が手前になってきたら、プッシュロッドで調整してください。
●調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

スープラ・ソアラターボ JZA70／1JZ用 MA70／7M用 作動変更パーツ取扱説明書

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

各部部品名

●ホークセット（組んだ状態で出荷。）

レリーズホークセット
〔ピボット、ワッシャー、ピボット台、板バネ〕
スリーブホークセット
〔T字型ブラケット、ピン、ピン用C止め（2個）、スリーブベアリング、スプリング（2個）〕

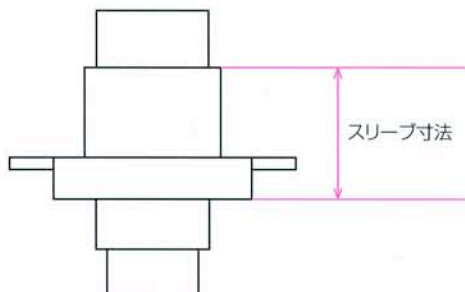
●付属部品

ピボット台固定用ボルトM10×45L（2本）
T字型ブラケット固定用ボルトM8×20L（2本）
リターンシャフト一式
（プラスチックブッシュ、コイルスプリング、段付きワッシャー、C止め）
プッシュロッド一式

取り付け方法

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.レリーズシリンダー内（カップの奥）の、スプリングを取り除いて使用してください。
2.純正部品のレリーズホーク、レリーズスリーブ及び支点台などを取り外してください。
3.仮組をしているリターンシャフトとスリーブホークセットをバラしてください。
4.図を参照しながら、リターンシャフトとT字型ブラケットを固定してください。
5.レリーズホークセットを組んだまま、図のように上に乗せてください。
6.先程バラしたスリーブホークをレリーズホークの上に乗せて、ピンでC止めを使用して止めてください。
7.リターンシャフトにレリーズホークの上から、プラスチックブッシュ・コイルスプリング・段付きワッシャーを乗せてC止めで固定してください。
8.フロントカバーにスリーブベアリングを差し込んでください。
注意（この時に、スリーブベアリングが軽く入り、回転方向に少しガタがあることを確認してください。もし、入らなかったり固かったら、4番の行程でT字型ブラケットの取付位置を修正してください。）
9.ピボット台をミッションケースにボルトで固定してください。
注意（この時、ボルトが入らなかったら、ピボットを緩めてピボット台の角度を修正してピボットを締め直して、5番の行程からやり直してください。）
10.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように（隙間は0.5㎜以上）プッシュロッドで調整してください。

1JZ/7M作動変更パーツの注意事項

レリーズスリーブの寸法確認

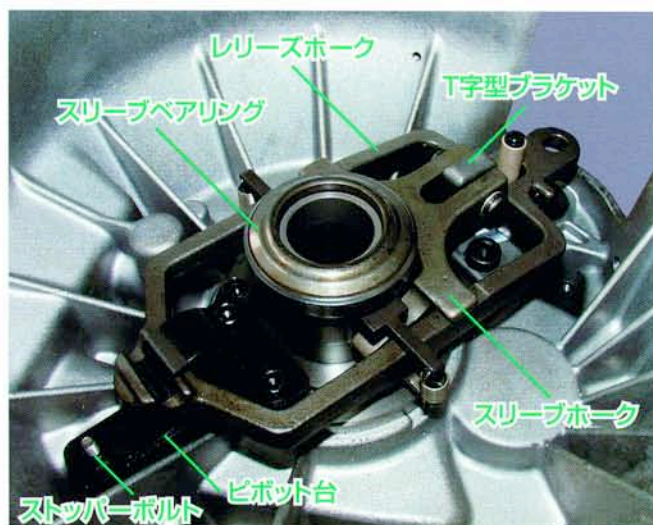
TS2B 及び スーパーシングル用	36㎜
TS3B・TS3BW 及び R3C・R4C用	28㎜
TS2BD・TS2CD・TR2CD用	25㎜

※必ず、寸法をご確認ください。

! 注意事項

●ベルハウジングの中の形状（リップなど）が車により違う事がありますので、もし変更パーツが干渉することがありましたら、干渉する部分をリューター等で削ってください。
●レリーズスリーブの寸法違い、調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。
●作動変更パーツは、H10.5以降モデルチェンジを行っています。

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

スープラターボ JZA80／2JZ(6速タイプ)用 作動変更パーツ取扱説明書

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

各部部品名

●フロントカバー

●ホークセット（組んだ状態で出荷。）
レリーズホークセット
スリーブホークセット
ピボット台〔ピボット、板バネ、ナット、ストッパーボルト〕
T字型ブラケット〔ガイドシャフト、ガイドブッシュ、C止め（1個）、
リターンスプリング〕
ピン、ピン用C止め（2個）、スリーブベアリング、スプリング（2個）

●付属部品
フロントカバー固定用ボルトM6×15L（4本）
ピボット台固定用ボルトM8×15L（2本）
T字型ブラケット固定用ボルトM10×25L（2本）
プッシュロッド一式

取り付け方法

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.レリーズシリンダー内（カップの奥）の、スプリングを取り除いて使用してください。

2.純正部品のレリーズホーク、レリーズスリーブ、フロントカバー及び支点台などを取り外してください。

3.付属のフロントカバーをボルトに固定してください。

4.図を参考にしながら、ホークセットを上に乗せながら、スリーブベアリングをフロントカバーに入れてください。

5.ピボット台、T字型ブラケットを付属のボルトで仮止めをしてください。
注意（この時に、スリーブベアリングが回転方向に少しガタがあることを確認してください。もし、固かったら、T字型ブラケットの取付位置を修正してください。）

6.レリーズホークを動かして、スムーズに動くか、そして各部がうまく取付けられているかを確認の上、本締めをしてください。

7.ストッパーボルトを㊀のドライバーでベルハウジングに当たるまで締め込み、ナットで回り止めをしてください。

8.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように（隙間は0.5㎜以上）プッシュロッドで調整してください。

! 注意事項

●クラッチの繋がる位置が手前になってきたら、プッシュロッドで調整してください。

●調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。

●作動変更パーツは、H10.8以降モデルチェンジを行っています。

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

ランエボⅣ〜Ⅵ CN9A〜CP9A／4G63用
作動変更パーツ取扱説明書

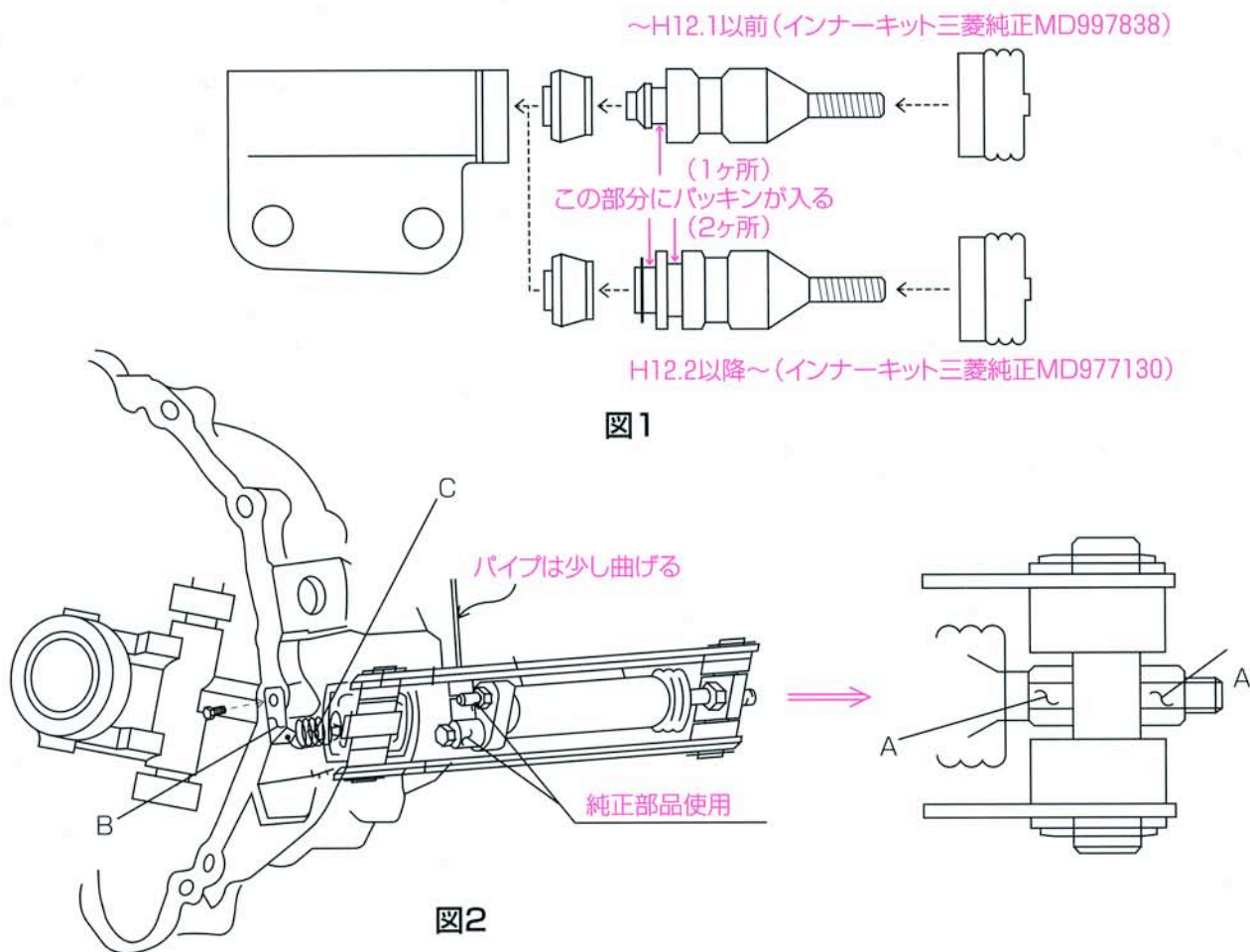



図1

図2

取り付け方法

注意：平成12年2月以降のOS作動変更パーツをご使用の場合、三菱純正品番MD977130のインナーキットをご使用ください。（H12.2〜設計変更を行っています。1月以前の変更パーツをオーバーホールする場合、三菱純正品番MD997838をご使用ください。）

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.純正レリーズシリンダーカップ部の黒いゴムパッキンをOS製プッシュロッドに装着する。（図1参照。）（アルミ製のカップは使用しません。）

2.図2のように作動変更パーツを装着する。この時、Aボルトにてプッシュロッドがいちばん短い状態にしておく。またBのスプリング押え板は、エンジン側のバックプレートの上から取付ける。

3.Cのリターンスプリングが、ラジエターホースに接触しないようにしてください。

4.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように（隙間は0.5㎜以上）プッシュロッドで調整してください。

注意事項

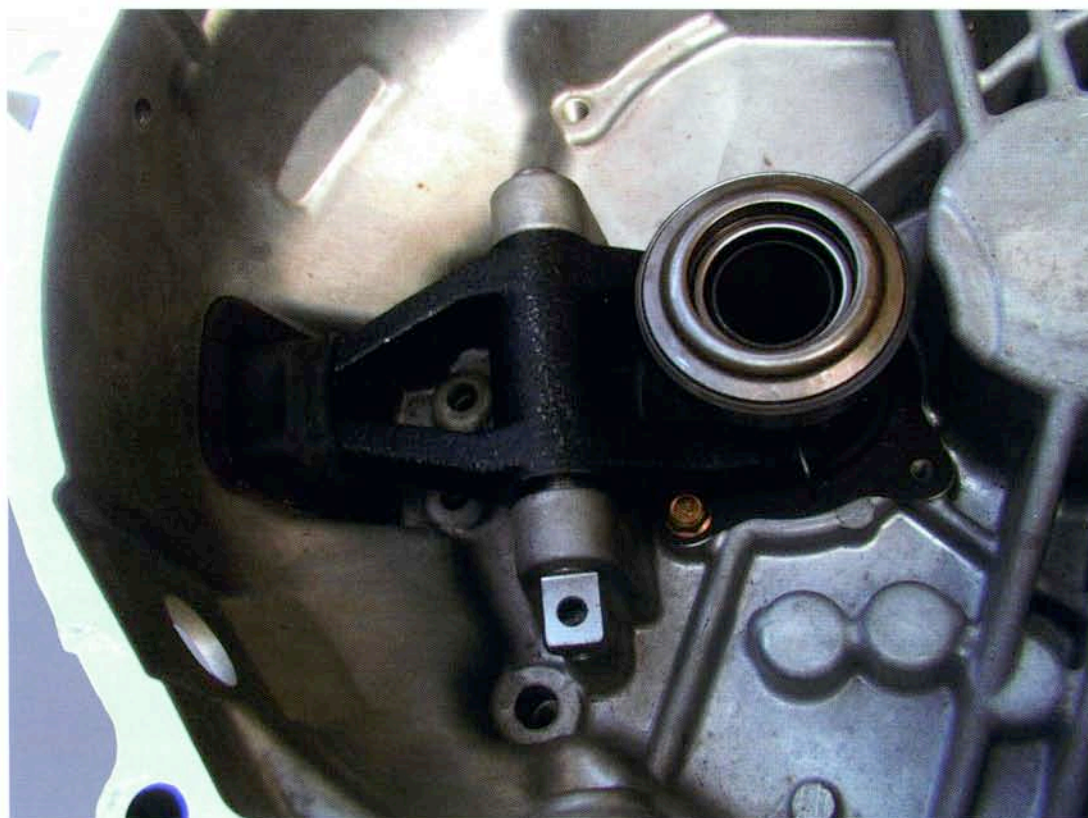
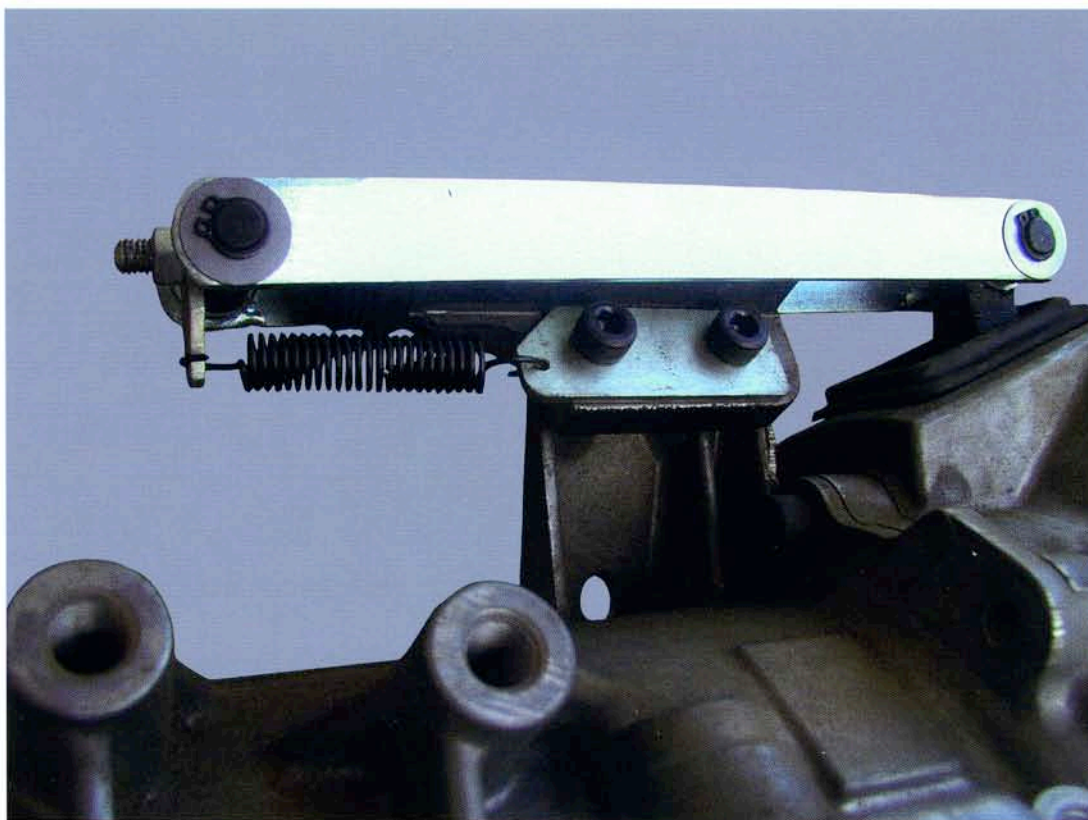
●クラッチの繋がる位置が手前になってきたら、プッシュロッドで調整してください。

●調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。

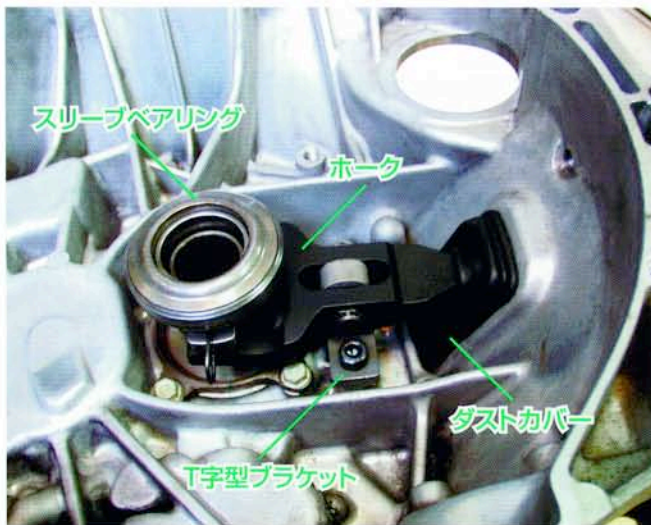
●作動変更パーツ内のプッシュロッドは、H12.2以降モデルチェンジしています。

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

レグナムVR-4 EC5W／6A13用 作動変更パーツ取扱説明書

（※詳細は、CN9A/CP9A ランエボⅣ〜Ⅵ用作動変更パーツを参照のこと。）

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

NSX NA1／C30A用 作動変更パーツ取扱説明書

図1

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

各部部品名

●ホークセット（組んだ状態で出荷。）
ホーク、ダストカバー
T字型ブラケット（ピン）
スリーブベアリング

●シリンダーセット（組んだ状態で出荷。）
シリンダー、プッシュロッド、プッシュロッド当て、ホース
アーム（2本）、ホーク連結用シャフト、L字ブラケット

●付属部品
シリンダー固定用ボルトM8×25L（2本）
T字型ブラケット固定用ボルトM8×25L（2本）

取り付け方法

注意：この作動変更パーツは、セットのまま組み付けられるようになっておりますので、必要な部分以外は分解しない様にしてください。

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.純正部品のレリーズホーク、レリーズスリーブ、レリーズシリンダー、ダストカバー及び支点台などを取り外してください。

2.ホークセットを上に乗せながらスリーブベアリングをフロントカバーに入れてください。（図1を参照。）

3.T字型ブラケットを付属のボルトで止めてください。
（この時、図1を参照しながらダストカバーをはめてください。）

4.シリンダーをベルハウジングに付属のボルトで固定してください。（図2を参照。）

5.ホーク連結部（図2参照）のシャフトを外して、ホークとアームを連結します。（ワッシャーは、アームの外側に入れてください。）

6.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように（隙間は0.5㎜以上）プッシュロッドで調整してください。（ダブルナットになっているので、調整後に締めてください。）

7.ホースを純正の位置に取付てください。

8.純正と同じ手順でエア抜きをしてください。

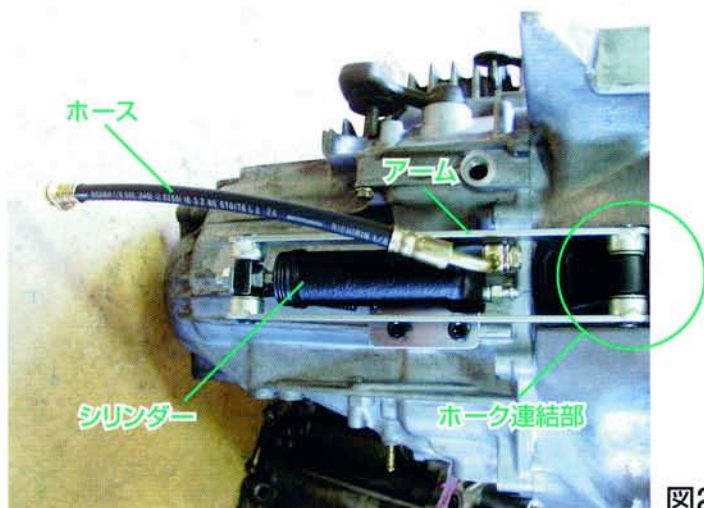



図2

！注意事項

●クラッチの繋がる位置が手前になってきたら、プッシュロッドで調整してください。

●調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

S2000 LA-AP1／F20C用 作動変更パーツ取扱説明書

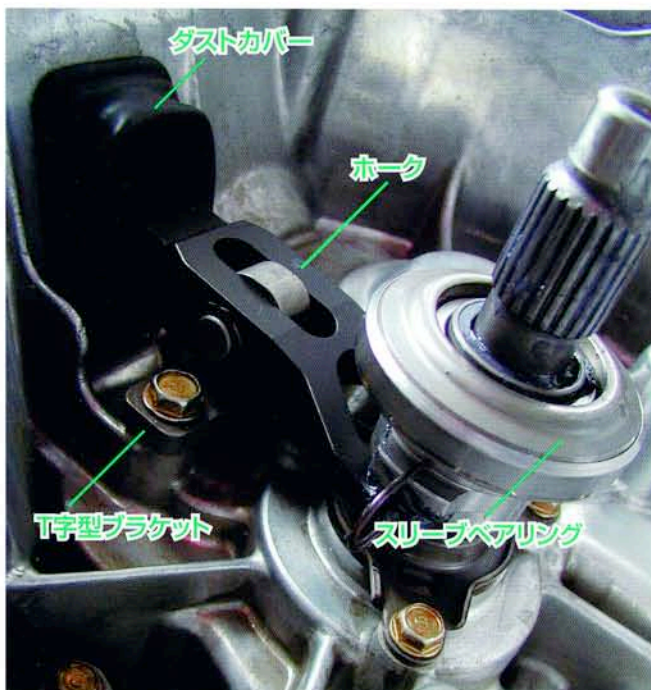



図1

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

各部部品名

●**ホークセット**（組んだ状態で出荷。）
ホーク、ダストカバー
T字型ブラケット（∅12ピン、∅12ピン用C止め2個）
スリーブベアリング（スリーブベアリング止め2個）

●**シリンダーセット**（組んだ状態で出荷。）
シリンダー、プッシュロッド、ホーク連結用シャフト2本（∅10ピン、∅10ピン用C止め2個）、L字ブラケット、リターンスプリングセット、レリーズホース

●**付属部品**
シリンダー固定用ボルトM8×22L（2本）

取り付け方法

注意：この作動変更パーツは、セットのまま組み付けられるようになっておりますので、必要な部分以外は分解しない様にしてください。

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.純正部品のレリーズホーク、レリーズスリーブ、レリーズシリンダー、ダストカバー及び支点台などを取り外してください。
2.図1を参照しながら、ホークセットを上に乗せながらスリーブベアリングをフロントカバーに入れてください。
3.T字型ブラケットを付属のボルトで止めてください。（この時、ダストカバーをはめてください。）
4.図2を参照しながら、シリンダーをベルハウジングに付属の純正ボルトで固定してください。（この時に、ホーク連結シャフトがスムーズに動くかどうか確認する。）
5.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように（隙間は0.5㎜以上）プッシュロッドで調整してください。（ダブルナットになっているので、調整後に締めてください。）
6.図3の様に手前のホーク連結シャフトを取外し、レリーズホースを固定してください。（レリーズホースはできるだけ車体側へ近付けて取付てください。）
7.手前のホーク連結シャフトを取付後、純正と同じ手順でエア抜きをしてください。

図2

図3

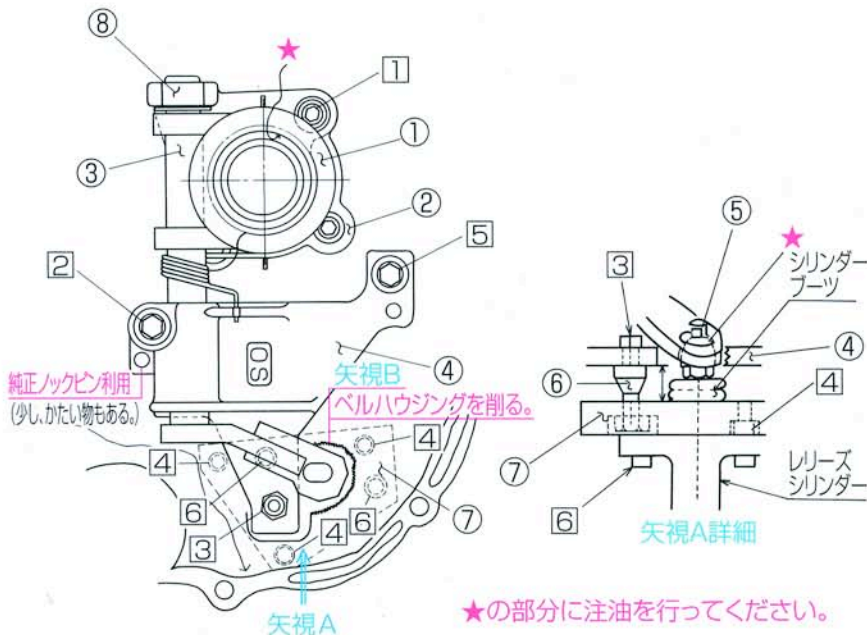
! 注意事項

●クラッチの繋がる位置が手前になってきたら、プッシュロッドで調整してください。
●**調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。**

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

アンフィニRX7 FD3S／13B-REW用 作動変更パーツ取扱説明書

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

★の部分に注油を行ってください。

各部部品名

品番	品名
①	スリーブベアリング
②	フロントカバー
③	レリーズホーク
④	レリーズホーク台
⑤	プッシュロッド
⑥	調整ボルト
⑦	レリーズシリンダー台(16㎜)
⑧	フランジブッシュ

使用ボルト

品番	品名	数量
1	M 8 ×15	4本
2	M10×45	1本
3	M8ナット	2個
4	M 8 ×20	3本
5	M10×20	1本
6	M 8 ×25	2本

取り付け方法

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.純正部品の取り外し
　クラッチのベルハウジング内のフロントカバー、レリーズホークの部品、レリーズシリンダーを取り付けているアルミの台を取り外す。※取り外したボルト、パーツ類は使用しません。

2.ベルハウジングの加工
　レリーズシリンダーを、OSのレリーズシリンダー台に取り付けてベルハウジングにもって行く。そして、シリンダーブーツが入る程度にベルハウジングを削る。(図矢視B参照。)

仮止めを行う

3.フロントカバーの仮止め
　フロントカバー②とレリーズホーク③を仮止めし、レリーズホーク台④とフロントカバー②を平行にする。(この時、フロントカバーを動かしながら調整する。)

本止めを行う

4.フロントカバーの本止め
　次にレリーズホーク台④を外し、フロントカバー②の本止めを行う。そして、レリーズホーク台をもう一度付け、本止めを行う。する。(この時、レリーズホークを動かしてみてスムーズに動くことを確認する。)

5.レリーズシリンダー台の取り付け
　レリーズシリンダー台をベルハウジングに仮止めする(台の表裏に注意する。)。そして、レリーズホーク台④にあたるまで調整ボルト⑥を締め込む。高さ調整が終わった後、レリーズシリンダー台⑦を本止めし、調整ボルト⑥の両端をナットで本止めする。

6.すべての駆動部にグリースを注入すること。(特に★部分。)

7.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングとの隙間は、⑤のプッシュロッドのネジ部で調整のこと。

8.レリーズシリンダーのカップの奥のスプリングは、取り外して使用してください。

9.FD3Sの場合クラッチマスターシリンダーからレリーズシリンダーにつながっているパイプのマスター側の付け根の部分を外し、中のプランジャーとスプリングを取り除いてください。(取り除かず使用した場合、ハーフクラッチの状態が長く続くため短時間でトラブルの発生原因になります。)

10.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように(隙間は0.5㎜以上)プッシュロッドで調整してください。

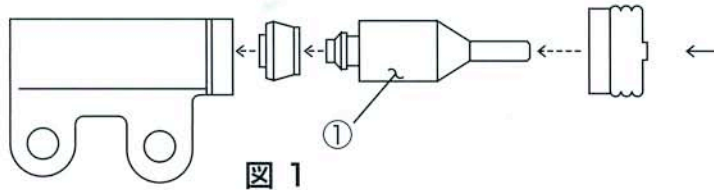
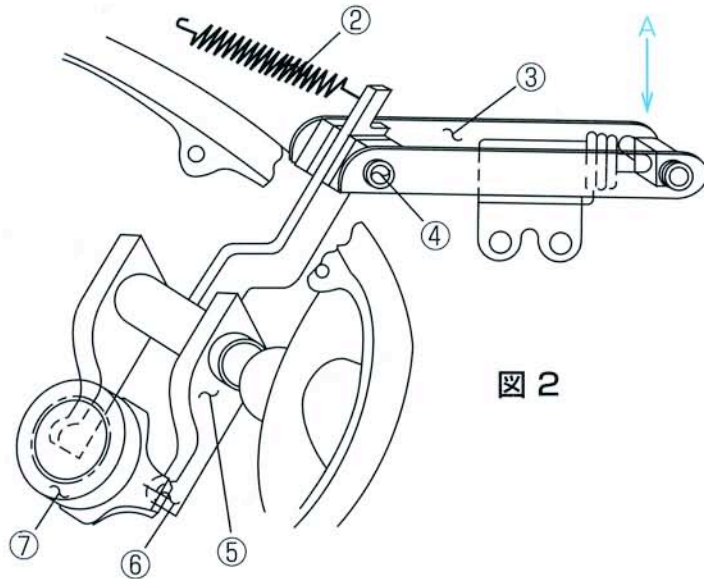
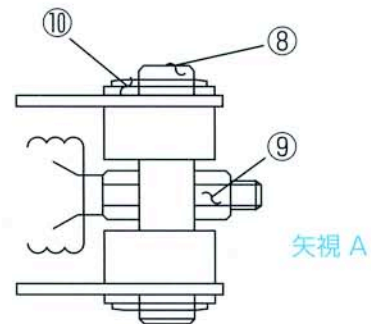
！注意事項

●クラッチの繋がる位置が手前になってきたら、プッシュロッドで調整してください。

●調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

インプレッサ GC8／EJ20用 作動変更パーツ取扱説明書

付属部品一覧（部品が全て揃っているかご確認ください。）

各部部品名	
品番	品　名
①	プッシュロッド
②	リターンスプリング
③	フラットバー
④	丸ピン
⑤	スリーブホーク
⑥	ベアリングリターンピン
⑦	スリーブベアリング
⑧	角ピン
⑨	ナット
⑩	C止め＆ワッシャー

取り付け方法

※しゅう動面には、スプレー潤滑剤を塗って取り付けてください。また、使用中は時々注油してください。

1.純正レリーズシリンダーのカップ奥にあるスプリングを取り除き、カップ部の黒いゴムパッキンをOS製プッシュロッドに装着する。（図1参照）

2.純正レリーズシリンダーを180°反対方向に固定し、図2の様に作動変更パーツを装着する。リターンスプリングは純正のスプリング固定位置にセットする。各部分が円滑に駆動しているかを確認する。

3.スリーブベアリングとクラッチのダイヤフラムスプリングは、接触しないように（隙間は0.5㎜以上）プッシュロッドで調整してください。

注意事項

●クラッチの繋がる位置が手前になってきたら、プッシュロッドで調整してください。

●調整不良などは、ディスクの破損や切れ不良の原因になります。

★作動変更パーツは消耗品です。ホコリや摩耗などにより動きが悪くなった場合には、アッセンで交換してください。

このキットを次の人にゆずる時には、必ず本書もつけてゆずってください。

取扱店